

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2013.1.15/25 No. 155-1 連絡先 FAX 042-555-1911



2013年 横田基地前座り込み 元気にスタート！

2013年1月20日、横田基地撤去を求める西多摩の会の第46回座り込みが行われました。

風はありましたが晴天のもと、踊り、歌、クイズ、お汁粉あり、ねこ君も登場しての座り込みで、60人を超える参加者がありました。

2012年の年間パラシュート降下訓練は 延べ600人を超える！

2012年は、1月、6月、7月、10月末から11月にかけての4回にわたり、米陸軍を中心とした大規模なパラシュート降下訓練が横田基地で行われました。実際に目視できた人数と確かな情報をあわせると、パラシュート降下訓練をしたのは延べ600人を超えています。これに夜間の訓練や、単発的な訓練など含めると、どれほどの人数になるのでしょうか。基地周辺自治体の議会で訓練の質問をしても回答はありません。米軍が自由に訓練する横田基地。撤去しかありません。



新年も 無通告でパラシュート訓練

横田基地では1月8日、夕方から夜にかけて今年初めての、C-130H輸送機の飛行訓練と、パラシュート降下訓練が行われました。3機での編隊飛行の後、2機編隊と分かれた1機が、最初は人と荷物、2回目は人だけの、パラシュート降下訓練を行いました。(左2枚の写真)

1月9日は、午後2時頃、C-130Hが4機そろって離陸。2時半過ぎ、1機からの人と荷物のパラシュート訓練でした。

17日には、荷物のパラシュート投下訓練です。18日も、パラシュート訓練が目撃されています。訓練の恒常化に反対しましょう。

嘉手納基地のパラシュート降下訓練 地元では強く抗議

沖縄県の米空軍嘉手納基地では2011年2月16日、県や周辺自治体等のたび重なる中止要請や抗議にもかかわらず、4年ぶり、6人の兵員によるパラシュート降下訓練が強行されました。嘉手納基地の地元自治体は、嘉手納町、北谷町、沖縄市ですが、6人のパラシュート降下訓練でも、3市町は抗議要請し、議会も「抗議決議」しています。

5月20日は、それまでの5回と違って、米軍は一切の事前通告なく、27人の兵員のパラシュート訓練を強行しました。琉球新報は「甘い顔を見せると際限なく増長するのが米軍の習性」と書きましたが、地元首長らの抗議に基地司令官は「事前通告すればよかったのか」と反論したそうです。いつまで日本は植民地なのか、県民は怒りを政府に向けています。



読谷補助飛行場と嘉手納飛行場のパラシュート訓練について

読谷補助飛行場におけるパラシュート降下訓練の実施状況は 1979 年から 1996 年の 18 年間で、実施回数は 186 回、降下人員は 6,878 人です。読谷村では 18 年のたたかいで、訓練は中止に。

嘉手納飛行場におけるパラシュート降下訓練の実施状況は第 1 回の 1998 年から 2012 年までの 15 年間で、実施回数は 6 回、降下人員は 307 人です。県民の怒り、県や自治体等の抗議がすごい。

下記の表は「沖縄の米軍及び自衛隊基地（統計資料集）平成 24 年 3 月」を参考にしました。

読谷補助飛行場における パラシュート降下訓練実施状況			嘉手納飛行場における パラシュート降下訓練の実施状況			
年（西暦）	実施回数	降下人員	実施	実施年月日	実施部隊	降下人員
昭和 54 (1979)	6	47	1	平成10 (1998) 5.30	陸軍	159
55 (1980)	22	191	2	11 (1999) 4.17	陸軍・空軍・海兵隊	100
56 (1981)	24	316	3	19 (2007) 1.26	空軍	6
57 (1982)	4	47	4	19 (2007)10.19	空軍	9
58 (1983)	2	41	5	23 (2011) 2.16	空軍	6
59 (1984)	2	49	6	23 (2011) 5.20	空軍	(27)
60 (1985)	7	158				
61 (1986)	7	250				
62 (1987)	5	254				
63 (1988)	38	1,403				
平成 元 (1989)	13	663				
2 (1990)	17	883				
3 (1991)	9	536				
4 (1992)	9	479				
5 (1993)	8	483				
6 (1994)	5	376				
7 (1995)	6	595				
8 (1996)	2	107				
計	186	6,878				

注：上記の沖縄の資料では、6 回目の降下人員は「不明」で、備考に「パラシュート 25 個が 3 回に分けて降下。」と書かれています。報道等では「1 回に 27 人降下」とあるので、(27)としました。

嘉手納飛行場のパラシュート降下訓練は、1998 年の第 1 回から 2011 年の第 6 回までの 14 年間で、計 307 人です。第 2 回は、3 月に 160 人の訓練を計画。政府が 県民の反米感情を恐れ米側に申し入れて、4 月に 100 人の訓練に。第 3 回の兵士 6 人の訓練は 8 年ぶりでした。県や地元自治体の中止要請を無視しての強行でした。同年の第 4 回は兵士 9 人の訓練が強行されました。風に流された 2 人が目標地点から 380 m 離れた地点に着地した、などの報道がされています。沖縄では、みんなが注目しています。第 5 回の訓練までは、事前通告がありましたが、2011 年 5 月の第 6 回は事前通告なしで強行です。2012 年、横田基地のパラシュート降下訓練の降下人数は 600 人を超えました。異常です。黙っていたら大変なことに！

注 1 実施回数・降下人員は県が確認した数。
2. 平成 8 年 12 月の「沖縄に関する特別行動委員会（SACO）」の最終報告において、同訓練の伊江島補助飛行場の移転が合意されたことから、平成 8 年 7 月 19 日以降、読谷補助飛行場での訓練は行われていない。
3. 読谷補助飛行場は、平成 18 年 12 月 31 日に全面返還された。（伊江島で訓練は実施されていますが、データはありません。）